

クローズアップ

七ヶ宿に来てからの暮らし

この町に来てから今年の9月で8年が過ぎました。

関東で暮らしていた時は私も妻も会社員。お互い激務で家には寝に帰るだけの生活でした。

子供のことを考えた時、頭によぎるのは不安ばかり。待機児童問題、人が多すぎるが故に赤ちゃんに優しくないバスや電車内、家族だんらんなど考えられませんでした。

その後、地域おこし協力隊として移住し色々な作業を経験しました。今はご縁あって炭やきの仕事に出会い、独立し副業と合わせて生計を立てています。

自営業は大変ですが、四季の移ろいを感じながら体を動かすことに生きがいを感じています。そして柔軟な働き方は家族との時間もとりやすく幸せを感じることが多いです。



1982年、東京都調布市生まれ。サラリーマンを経て2015年七ヶ宿町地域おこし協力隊を2年勤めた後独立。「もりのわ工房」を創業し黒炭・ドライフラワーの製造販売を夫婦で手掛ける。

色々な分野の担い手が減少していく中、この町の産業の一つであった炭やきを続けて一次産業の下支えになるよう、高品質なモノづくりをしていきたいと考えています。

井上 鎮夫

瀬見原地区にお住まいの井上さんより投稿いただきました。



▲炭窯全容

あなたも議会の傍聴してみませんか？

次の議会は令和5年12月6日から8日の会期で、第4回定例会を開催予定です。

傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

今年の夏は記録的な猛暑となり、熱中症の発症が多く見受けられました。

コロナ感染症も5類に移行した為か、マスク着用の減少や会食が増えたこともあり、断続的に確認され、まだまだ油断はできません。このような中、高齢者の7回目のワクチン接種も行われたほか、物価高騰対応として生活支援商品券の発行も行われました。

議会としても報告会や懇談会を通して町民の皆さんのご意見を拝聴し、安全安心を第一とした政策提言に取り組みしていきたいと考えています。

(五十嵐)

議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子

広報だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。



現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧ください。

▶ 連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

9月定例会の傍聴者は5名でした